

勝山市旧機業場の名称決定！

昨年の11月に勝山市旧機業場の愛称を募集しましたところ、市内外から358点もの応募がありました。

開館準備委員会において、厳正に審査しました結果、名古屋市千種区在住の中山善富さんの作品である「ゆめおーれ勝山」を最優秀作品として採用することに決定しました。

中山さんが、この名称を考えた理由は、「繊維と関係が深い建物であるため、『夢を織る』という意味で親しみやすく平仮名で表現しました。また、『おーれ』は、スペイン語の『オーレ(行け！)』と掛けて、未来へ前進する勝山のイメージを重ねました。」とのことでした。

選考の際には、委員から「勝山全体を盛り上げる感じがする。」「響きが良く新鮮である。」などの意見をいただいています。

一方、施設の名称については、これまで市指定文化財の名称である「勝山市旧機業場」を使ってきました。しかし、交流・情報の受信発信・ミュージアムの各機能を持たせた施設として生まれ変わることに、また、建物を当時の趣を残したまま保存し、「繊維のまち勝山」を知ることができる記念すべき建物とすることから、勝山では、繊維工場を総称して日常的に使われている「はたや」という言葉を用いて、下記の施設名称に決定しました。

施設名称

はたや記念館「ゆめお～れ勝山」



今後、皆様に愛される施設を目指し努力してまいりますので、今年の夏のオープンの際には、ご来館くださいますようお願い申し上げます。